

FortiGate-400 の LED 表示

LED	状態	説明
電源	グリーン	FortiGate-400 の電源がオンになっています。
	オフ	FortiGate-400 の電源がオフになっています。
1 2 3 4/HA	黄色	正しいケーブルが使用され、接続機器の電源がオンになっています。
	黄色点滅	トラフィック中です。
	グリーン	インタフェースが 100 Mbps で接続されています。
	オフ	接続が確立されていません。

工場出荷時設定

NAT/ ルートモード		トランスパレントモード	
ポート 1 インタフェース	192.168.1.99	管理 IP	10.10.10.1
ポート 2 インタフェース	192.168.100.99	管理者アカウント設定	
ポート 3 インタフェース	0.0.0.0	ユーザ名	admin
ポート 4/HA インタフェース	0.0.0.0	パスワード	(なし)

FORTINET FortiGate-400



クイックスタート ガイド

© Copyright 2004 Fortinet Incorporated. All rights reserved.

商標

本書記載の製品は、各種利権の所有する商標または登録商標です。

準拠規格

FCC Class A Part 15 CSA/CUS

2004 年 11 月 3 日

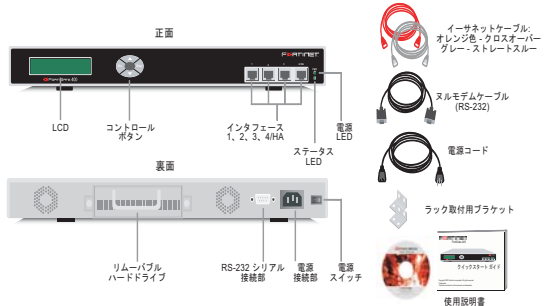
テクニカルサポートは、<http://www.fortinet.com> をご覧ください。

01-28005-0036-20041103

1 パッケージの内容を確認する

パッケージに次の物が揃っているかどうかを確認してください。

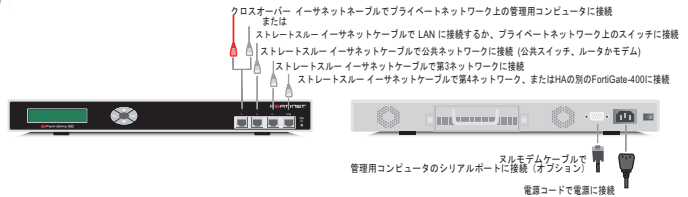
コネクタ	タイプ	スピード	プロトコル	用途
ポート 1	RJ-45	10/100Base-T	イーサネット	内部ネットワークに接続
ポート 2	RJ-45	10/100Base-T	イーサネット	インターネットに接続
ポート 3	RJ-45	10/100Base-T	イーサネット	DMZ または他のネットワークに接続 (オプション)。CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。
ポート 4/HA	RJ-45	10/100Base-T	イーサネット	他のネットワークに接続、または他の HA 用 FortiGate-400 に接続 (オプション)。CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。
CONSOLE	DB-9	9,600 bps	RS-232 シリアル	管理用コンピュータに接続 (オプション)。コマンドラインインタフェースへのアクセスとなります。



2 FortiGate-400 を接続する

FortiGate-400 を、電源コンセント、内部ネットワーク、外部ネットワークに接続します。

- FortiGate-400 を安定した場所もしくは 19 インチのラックに設置します。過熱を防ぐため両側に 3.75cm のスペースを確保してください。
- 電源コードとネットワークケーブルを接続する前に、裏面の電源スイッチがオフになっていることを確認します。
- システムが動作すると「メインメニュー」の表示に変わります。



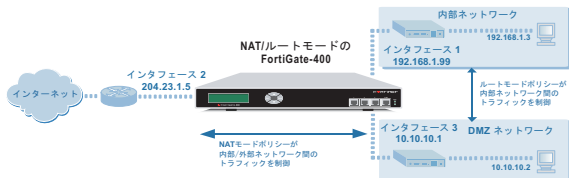
3 コンフィギュレーションプラン

FortiGate-400 のコンフィギュレーションを始める前に、既存のネットワークにどのようにインテグレーションしていくか、プランを立てる必要があります。コンフィギュレーションは NAT/ ルートモード (デフォルト)、トランスパレントモードのどちらの動作モードを選択するかによって決定されます。

NAT/ ルートモード

NAT/ ルートモードでは、FortiGate-400 は接続されているネットワークから見える状態になります。インタフェースは全く異なるサブネット上になります。ポート 1 およびポート 2 に IP アドレスを設定してください。オプションとしてポート 3 およびポート 4/HA インタフェースを設定することもできます。

FortiGate-400 をプライベートネットワークと公共ネットワークの間のゲートウェイとして使用する場合は通常、NAT/ ルートモードを使用します。NAT/ ルートモードをデフォルトとするコンフィギュレーションでは、FortiGate-400 はファイアウォールとして機能し、そのポリシーが FortiGate-400 を経由するコミュニケーションを管理します。ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-400 を経由できません。

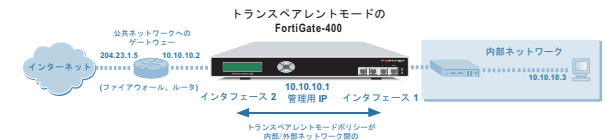


NAT/ ルートモードの場合、ファイアウォールポリシーは NAT モードもしくはルートモードで動作します。NAT モードの場合は、ネットワークアドレスを変換してから IP パケットを宛先ネットワークに送りますが、ルートモードでは変換はありません。

トランスパレントモード

トランスパレントモードにすると、ネットワークには FortiGate-400 が見えません。インタフェースはすべて同じサブネットに置かれます。また、管理用 IP アドレスを設定するだけでコンフィギュレーションを変更できます。

既存のファイアウォールまたはルータの後にあるプライベートネットワーク上で FortiGate-400 を使う場合は、一般的にトランスパレントモードにします。デフォルトにトランスパレントモードを設定すると FortiGate-400 はファイアウォールとして機能し、ファイアウォールポリシーを設定するまでは、トラフィックは FortiGate-400 を経由できません。



FortiGate-400 は最高 4 つのネットワークセグメントに接続することができ、その間のトラフィックを制御します。

トラフィックの管理方法、および HA、ウィルス対策、ウェブコンテンツフィルタ、スパムフィルタ、侵入防御システム (IPS)、仮想プライベート通信網 (VPN) の設定方法についての詳細は、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

4 コンフィギュレーションツールの選択

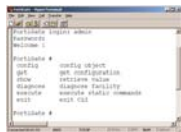
FortiGate-800 の3つのコンフィギュレーションツールからどれかひとつを選びます。

ウェブベースマネージャ/セットアップウィザード

ウェブベースマネージャ/セットアップウィザードの各ページに必要な情報を入力していくことで、基本的な設定ができます。FortiGateのウェブベースマネージャは使いやすい管理ツール。管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。

必要条件

- FortiGate-400 と管理用コンピュータ間のイーサネット接続
- 管理用コンピュータ上に Internet Explorer バージョン 6.0 以上



コマンドラインインタフェース (CLI)

CLI は多彩な機能を持つ管理ツールです。

このインタフェースを使用して管理者用パスワード、インタフェースアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレスを設定します。高度な設定については、CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

サーバアドレスを設定します。CD-ROM に収録されている各説明書を参照してください。

必要条件

- FortiGate-400 と管理用コンピュータ間に RJ-45 シリアル接続
- 管理用コンピュータ上にターミナルエミュレーション用アプリケーション (HyperTerminal for Windows)

IP Address
192.168.100.001

コントロールボタンと LCD

FortiGate-400 の正面にあるコントロールボタンと LCD

ボタンと LCD を使用して内部インタフェース、外部インタフェース、ポート 1(DM2) インタフェースおよびデフォルトゲートウェイアドレスを設定することができます。他のインタフェースアドレスおよび DNS サーバアドレスの設定にはウェブベースマネージャまたは CLI を使用します。

必要条件

- FortiGate-400 本体を直接操作できること

5 設定内容の情報をまとめる

次の表を使用して FortiGate-400 の設定内容を記録します。

NAT/ ルートモード

ポート 1 インタフェース	IP: _____ Netmask: _____
ポート 2 インタフェース	IP: _____ Netmask: _____
ポート 3	IP: _____ Netmask: _____
ポート 4/HA	IP: _____ Netmask: _____

ポート 1 インタフェースの IP アドレスおよび Netmask が内部ネットワークにおいて有効であることを確認してください。

トランスパレントモード

管理用 IP:	IP: _____ Netmask: _____
---------	-----------------------------

管理用 IP アドレスと Netmask が FortiGate-400 の管理に使用するネットワークに対して有効であることを確認してください。

一般設定

管理者パスワード:	
ネットワーク設定:	デフォルトゲートウェイ: _____ プライマリ DNS サーバ: _____ セカンダリ DNS サーバ: _____

FortiGate を経由してインターネットにアクセスする場合はデフォルトゲートウェイが必要です。

6 FortiGate-400 を初期設定する

ウェブベースマネージャとセットアップ

- FortiGate-400 のポート 1 インタフェースを管理用コンピュータのイーサネットポートに接続します。装置同士を直接接続する場合はクロスオーバー イーサネットケーブルを使用します。ハブまたはスイッチ経由で接続する場合は、ストレートスルー イーサネット ケーブルを使用します。
- 管理用コンピュータが FortiGate-400 のポート 1 インタフェースと同じサブネットに配置されるように設定します。管理用コンピュータの IP アドレスを 192.168.1.2 に、Netmask を 255.255.255.0 にそれぞれ変更して設定します。
- FortiGate のウェブベースマネージャにアクセスするには、Internet Explorer を起動し、https://192.168.1.99 にブラウズします。(「https://」には S が入っていますので注意してください。)
- [名前] フィールドに「admin」と入力して、[ログイン] を選択します。

NAT / ルートモード

FortiGate-400 の初期設定にセットアップウィザードを使用する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従って Easy Setup Wizard をください。

管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

インタフェースの設定

- System > Network > Interface の順に選択します。
- 各インタフェースに編集アイコンを選択し、初期設定します。
- インタフェースのアドレッシングモードを設定します (詳細はオンラインヘルプを参照してください)。
 - 手動アドレッシングの場合は、インタフェースの IP アドレスと Netmask を入力してください。
 - DHCP アドレッシングの場合は、DHCP その他必要な設定を選択してください。
 - PPPoE アドレッシングの場合は、PPPoE を選択し、ユーザ名、パスワード、その他必要な設定を入力してください。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス初期設定

- System > Network > DNS の順に選択し、プライマリ/セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの初期設定

- Router > Static の順に選択し、静的ルートの編集アイコンを選びます。
- デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

注意: ポート 1 インタフェースの IP アドレス (NAT / ルートモードの場合) または管理用 IP アドレス (トランスパレントモードの場合) を変更する場合、このアドレスを使用してウェブベースマネージャとセットアップウィザードに再接続する必要があります。また管理用コンピュータの IP アドレスを変更して新 IP アドレスと同じサブネット上に来るようにはなりません。

トランスパレントモード

NAT / ルートモードからトランスパレントモードへの変更

- System > Status の順に選び、Operation Mode の横の Change を選択して OK をクリックします。
- 管理用コンピュータの IP アドレスを 10.10.10.2 に変更し、Internet Explorer を使用して https://10.10.10.1 にブラウズします。

セットアップウィザードを使って FortiGate-400 を初期設定する場合は、Easy Setup Wizard ボタンを選択し、プロンプトに従ってください。

管理者パスワードの変更

- System > Admin > Administrators の順に選択します。
- 管理者用の Change Password を選択し、新たなパスワードを入力します。

管理用インタフェースの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- 管理用 IP アドレスおよび Netmask を入力します。
- 必要な場合は管理者アクセスオプションを選び、OK をクリックします。

プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレス設定

- System > Network > DNS の順に選択し、上記に従って登録したプライマリ/セカンダリ DNS の IP アドレスを入力し、Apply を選択します。

デフォルトゲートウェイの設定

- System > Network > Management の順に選択します。
- デフォルトゲートウェイの IP アドレスをデフォルトゲートウェイに設定し、OK をクリックします。

コマンドラインインタフェースを使用する

1. シリアルケーブルを使用して FortiGate Console ポートを管理用コンピュータのシリアルポートに接続します。
2. 管理用コンピュータ上でターミナル エミュレーション用プログラム (HyperTerminal) を起動し、次のように設定します。ボーレート (bps) : 9600、データビット : 8、パリティ : なし、ストップビット : 1、フロー制御 : なし
3. Login: のプロンプトが表示されたら、admin と入力し、Enter を 2 回押します (パスワード不要)

NAT/ ルートモード

1. FortiGate-400 ポート 1 インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port1
set mode static
set ip <intf_ip> <netmask_ip>
end
```

2. 同様に、ポートインタフェースなど各インタフェースを設定します。

```
config system interface
edit port2
...
```

3. プライマリ/セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```

4. デフォルトゲートウェイを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

トランスペアレントモード

1. NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更します。

```
config system global
set opmode transparent
end
```

2. しばらく待ち、プロンプトが表示された時点で再度ログインします。

3. 管理用 IP アドレスを設定します。

```
config system manageip
set ip <mng_ip> <netmask>
end
```

DNS サーバ IP アドレスを設定します。

```
config system dns
set primary <dns-server_ip>
set secondary <dns-server_ip>
end
```

4. デフォルトルートを設定します。

```
config router static
edit 1
set gateway <gateway_ip>
end
```

コントロールボタンと LCD を使用する

- ・ [メインメニュー] にアクセスする、メニュー項目を選択する、IP アドレス入力時に右に移動する、または変更を確認する操作には Enter キーを使用します。
- ・ [メインメニュー] 内で上下に移動する、または IP アドレスの数字を変更する操作には矢印キーを使用します。
- ・ [メインメニュー] に戻る、または IP 入力時に左に移動する操作には Esc キーを使用します。

NAT/ ルートモード

コントロールボタンと LCD を使用して次の操作を実行します。

- ・ ポート 1、ポート 2、ポート 3 およびポート 4/HA インタフェースの IP アドレスと Netmask を設定する。
- ・ ポート 2 インタフェースのデフォルトゲートウェイを設定する。

トランスペアレントモード

コントロールボタンと LCD を使用して次の操作を実行します。

- ・ 動作モードを NAT/ ルートモードからトランスペアレントモードに変更する。
- ・ 管理用 IP アドレスと Netmask を設定する。
- ・ デフォルトゲートウェイを設定する。

注意: IP アドレスを入力する際、LCD ディスプレイは IP アドレス各部について常に 3 桁の数字を表示します。たとえば、IP アドレスが 192.168.100.1 の場合、LCD ディスプレイには 192.168.100.001 と表示されます。

7 コンフィギュレーションの完了

これで基本設定は完了。ネットワークはインターネット経由の脅威から保護されます。設定のオプションについての詳細は、オンラインヘルプもしくは CD-ROM に収録されている説明書を参照してください。

FortiGate-400 の再設定

ネットワーク設定の変更を誤り、FortiGate-400 に接続できない場合は、再起動して接続するか、いったん工場出荷時設定に戻してから設定し直してください。

- ・ 再起動するには、**System > Maintenance > ShutDown** の順に選び、Reboot を選択します。 CLI: execute reboot
- ・ リセットするには、**System > Maintenance > ShutDown** の順に選び、Reset to factory default (工場出荷時設定に戻る) を選択します。 CLI: execute factoryreset